

川小コミュニティ・スクールだより

委員長 島田 福男
担当 牧 靖子
高橋 友成

令和5年度 学校運営協議会がスタート！

令和5年7月13日（木）に、令和5年度第1回学校運営協議会を行いました。令和5年度の活動がスタートしました。

仙台版コミュニティ・スクールとは

「学校運営協議会」を設置している学校をコミュニティ・スクールといいます。学校運営協議会※1では、学校と地域で「ともにどんな子供を育てたいか」など、熟議（熟慮と議論）を通して目標・ビジョンを共有し、その実現に向けて意見を出し合い、協力します。仙台市では、学校運営協議会と学校支援地域本部※2との連携・協働により、コミュニティ・スクールを推進する体制をつくり、「仙台版コミュニティ・スクール」と名付けています。

※1 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5に規定された組織で、学校運営や必要の支援に関する協議をする合議体。

※2 地域につくられた学校の応援団で、学校支援地域本部が窓口となり、地域の方を学校支援ボランティアとしてつないでいます。

学校運営協議会の役割 ～3つの機能～

承認

校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること

意見

学校運営等について、教育委員会又は学校に意見ができること

評価

学校運営状況等について評価すること
(協働型学校評価を含む)



2023.1.17 R4年度第4回学校運営協議会
令和5年度の学校教育目標を承認しました。

「川小コミュニティ・スクールだより」発刊にあたって

川平小学校がコミュニティ・スクールとなって2年目となりました。これまでは学校のブログや学校だよりを通じて、コミュニティ・スクールの活動の様子をお知らせしてきました。しかしながら、「コミュニティ・スクールってよく聞くけど、いったい何をやっているの？」というお声を聞くことがあります。そこで、これからは保護者の皆様、地域の皆様にコミュニティ・スクールを一層理解していただくため、この「川小コミュニティ・スクールだより」を発行する運びとなりました。学校運営協議会の様子やコミュニティ・スクールとしての取組等を紹介してまいりたいと考えています。

令和5年度 第1回学校運営協議会 ～5年生児童との熟議～

学校運営協議会副委員長 牧 靖子

川平小学校でコミュニティ・スクールが立ち上がり2年目となりました。令和4年度は委員の中で熟議を重ねてきましたが、いよいよ令和5年度は、児童の皆さんとの熟議を実施することになりました。5年生の皆さんと行った熟議のテーマは、次の二つです。

(1)あなたは一人で下校中です。家と学校の間あたりで、大きな地震が発生しました。停電が起こり、道路の信号も消えています。すぐ近くで火災も発生し、煙が近づいてきます。あなたはどう行動しますか。

(2)大雨による土砂災害警戒情報発令のため、川平小学校に避難所が開設されることになりました。あなたも家族と一緒に川平小学校に避難することになりました。あなたには、何ができますか。

1分の砂時計で時間を計りながら、ボールをバトンにして自分の考えを話し、友達の話に耳を傾けました。P4C(Philosophy for children)の手法を取り入れて、委員と5年生の子供たちが熟議を行いました。

子供たちは一人一人がよく考えて、自分事として発言していました。2巡目、3巡目には要領を得てきました。

言葉に詰まってしまっても、みんな優しく励まし合ったり、待ってあげたりすることができました。災害に遭って困ったりけがをしたりしたら、近くの家に助けを求めるとい意見がありました。また、川平小学校のことを一番よく知っているのは自分たちなので、避難所で困っている人がいたら声を掛けたいなど、頼もしい声も上がりました。地域に住む私たちも、子供たちの信頼に応えられるように常日頃から備えておくことがより一層必要であると、肝に銘じることができた学習になりました。

【令和5年度 学校運営協議会委員】(敬称略)



役職	氏名	
会長	島田 福男	川平学区連合町内会長 川平団地町内会会長
副会長	牧 靖子	学校支援地域本部スーパーバイザー
	石原 修治	川平小学校PTA OB会 会長
	板橋 夏樹	宮城学院女子大学 准教授
	伊東 祐朗	元 学校評議員
	大野 孝之	元 PTA会長
	上戸鎖芳夫	川平団地子供見守り隊 事務長
	篠 實	川平学区民体育振興会会長
	三浦ひろ子	元 川平地区民生委員児童委員協議会会長
	吉村真奈美	前 PTA会長